

私たち広報部は、市民が主役の市政を実現するために、市民の声に耳を傾けながら市民との情報共有をより一層進めていきます。



広報課の主な事業 (概要・H24 予算額)

- 広報さっぽろ** (628,905 千円)
約 98 万部 / 月発行 全戸配布
町内会配布 (謝礼) 7 割 / 業者配布 (委託) 3 割
閲読率 85.7% (必ず読む 47.2% + 時々読む 38.5%)
- 市民便利帳** (0 千円)
主に市外からの転入者へ配布。9 万 5 千部 / 年発行
民間企業との共同発行により、経費ゼロ。
- パブリシティ** (16,139 千円)
市政記者クラブへの情報提供による
新聞・TV 等のマスコミを活用した広報
- 広報番組** (48,577 千円)
市政情報番組を放送。TV 3 局 (118 本) ラジオ 4 局 (113 本)
年間平均視聴率 TV 3.4% ラジオ 2.2%
- 大型ビジョン** (0 千円)
街頭など、市内 7 か所で市政情報を掲出。
掲出枠は限られているが、出稿料は無償。
- インターネット** (11,500 千円)
H23 年 3 月より新システム CMS を導入。
年間総アクセス数 約 5,570 万件 (15 万 2 千件 / 日平均)
他、Twitter / YouTube / Ustream を活用。
- 出前講座** (100 千円)
町内会などの団体を対象に、課長職が市政について説明。
H24 年度から子ども向けテーマを拡充。
466 回 25,515 人 (H23 年度実績)
- 展示・掲示** (1,218 千円)
地下鉄駅構内掲示 (地下鉄全駅 46 駅・49 箇所: ポスター)
地下鉄ホーム・コンコース (地下鉄全駅: 電照ポスター)
ふれあい広場 (東西線コンコース: パンフレット)
ふれあいインフォメーション (地下鉄主要 15 駅: ポスター)
本庁舎 (西側ロビー・東側掲示板: ポスター)
アワードショーケース (本庁舎 1 階: 受賞物)
iVision (i ビジョン) (本庁舎 1 階: 市政情報・広報番組)

市民の声を聞く課の主な事業 (概要・H24 予算額)

- 市民の声** (4,135 千円)
来訪・電話・手紙・インターネットで寄せられる提言・要望。
5,625 通・17,870 件 / 年 (平成 23 年度実績)
そのほか、簡易な問い合わせ件数 45,908 件
- ふらっとホーム** (610 千円)
平成 15 年度～ 各区において市長と市民が懇談。
10 回開催・対話者 67 人・傍聴者 235 人 (平成 23 年度実績)
- 市長宛要望書** (市民の声に含む)
町内会・政治団体等の団体から提出された意見・要望
182 件 (平成 23 年 12 月末現在実績)
- 広聴リポーター** (250 千円)
大学生に委嘱。市政に関する調査・提案を行ってもらう。
平成 23 年度は 5 大学が参加。北海道大学公共政策大学院、
北海道大学国際広報メディア・観光学院、北海学園大学
札幌大学、北海道工業大学
- 市政世論調査** (3,738 千円)
昭和 43 年～ 年 1 回。社会的関心事・市政課題を調査。
対象者: 無作為抽出 18 歳以上 1,500 人
- 市民アンケート** (2,587 千円)
昭和 49 年度～ 年 2 回。施策・事業の周知度・要望を調査。
対象者: 無作為抽出 18 歳以上 各 10,000 人
- 特別相談** (23,192 千円)
昭和 34 年～ 市政外の、法律相談・交通事故相談など 8 種類。
総計 18,033 件 (平成 23 年度実績)
- コールセンター** (95,088 千円)
平成 15 年度～ 年中無休 08:00 ~ 21:00
市政への問い合わせ対応のほか、イベント申込窓口にも。
問い合わせ件数 13 万 5,760 件 (平成 23 年度実績)

- ▶ 広報さっぽろ・広報システム
- ▶ プレスリリース・記者レク
- ▶ 広報番組 (TV・ラジオ)・大型ビジョン
- ▶ ホームページ・ポスター掲示
- ▶ 全庁的な広報体制強化に向けた各種研修 など

広報支援

情報提供

他の部局

- ▶ 声の集約システム (市民の声 データベース)
- ▶ コエミル (コールセンター対応記録)
- ▶ コールセンター Q&A など